

～地域での支え合いの仕組みづくり  
(生活支援体制整備事業) がはじまっています～

生活支援  
コーディネーター  
地域通信 第10号

令和7年10月発行

私たちが生活支援コーディネーターです!



社協・川辺



包括・岸田



包括・平山

地域にある資源を活かして、地域の支え合いを推進する役割を担うのが生活支援コーディネーターです。山元町をより良くするための調整役として地域の様々な活動と活動、人と人を“つなぐ”支援をしています。身近な地域での支え合いを推進し「支え上手」「支えられ上手」の地域づくりを進めていきます!

コーディネーターの仕事は「地域の支え合い推進員」というのは分かりました!

令和7年4月から8月までに寄せられた相談内容を大きく分けると、「交通手段に関すること」「参加できる居場所・交流の場」「食に関すること」にわけられます。



じゃあ実際どんな相談があるんですか?

交通手段に関すること

- ・免許返納したいけど出来ない
- ・買い物に行くのが大変
- ・月1度の通院、毎回のタクシーは大変
- ・ぐるりん号の使い方は?

その他の相談内容としては以下のとおりです。

- ・ボランティアを利用したい
- ・ボランティア活動をしたい
- ・終活について
- ・ゴミ捨てについて

参加できる居場所・交流の場

- ・体を動かしたい
- ・みんなでお話したい
- ・お茶を飲みたい
- ・趣味を楽しみたい
- ・ボッチャにチャレンジしたい
- ・ダンベル体操したい
- ・ラジオ体操したい

食に関すること

- ・買い物が大変
- ・食べるものがない
- ・買い物代行をお願いしたい

では、生活支援コーディネーターがこういった地域の困りごとをサービスや地域の活動とマッチングした具体例を裏面で紹介します♪

裏面につづく➡

# ニーズ×地域資源～マッチング編～

## 交通手段での困りごと⇒町民バスへマッチング

生活支援コーディネーターが地域で訪問活動をしている時に

「免許返納を考えているけど、買い物どうしたらいいんだろう」

「病院への通院が不安」といった相談を受けることが最近多くなってきました。

また、免許のない生活に不安を感じてしまい、なかなか免許返納に踏み切れないとの声も聞かれます。山元町では、交通手段のひとつとして町民バスがありますが、「申請や利用の仕方がわからない」「登録・手続きしていなかった」という方も多くいらっしゃいました。

そういった方に対して、町民バスの使い方の説明や登録等を手伝い、町民バスを使っていただくようになりました。



山元町には移動支援事業があります。

- 運転免許自主返納者の町民バス運賃減免制度
- 福祉タクシー利用助成・身体障害者等自動車燃料費助成
- 移動支援事業（障害者等地域生活支援事業）

※詳しくは山元町ホームページか直接役場へお尋ねくださいね！



## 参加できる場所・交流の場での困りごと

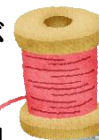
### ⇒山下にっこり会へマッチング

～これまで地域の集いに参加していたが、お休みしている方のつぶやき～

「怪我や病気が重なり、地域活動に参加することが億劫になった」

「猛暑で外出もままならない日々が続いてしまった」

その方の娘さんからも「本人としては地域の集いに参加して、地域の方々とまた交流をしたいという気持ちがあるんだと思う」という話がきっかけとなり、生活支援コーディネーターが直接本人への声かけ、地域の交流場所になっている「山下にっこり会」との調整・マッチングを行いました。



#### 【山下にっこり会とは】

毎週水曜日、午後13時半から15時、山下生活センターで軽体操や、脳トレ、卓球バレー、季節イベント、バスでのお出かけ等をおこなっている会です。

※気軽に社会参加できる「通いの場」が各地区にあります。令和7年3月発行の「地域資源マップ」をご覧ください。



ご家族、世話人、参加者の方々の協力もあり、2年ぶりに「山下にっこり会」へ参加することが出来ました。拍手で迎えられご本人も嬉しそうでした。一度は切れかかった地域の方との絆の糸が、再び結び直された瞬間でした。

地域包括支援センター  
電話 0223-37-1171



社会福祉協議会  
電話 0223-37-2785